

風の谷 びゅう VIEW

社会福祉法人風の谷
相模原市中央区田名7236-3
発行責任者 松永 徹
042-760-1033
<https://kazenotani-group.jp/>
e-mail: ykoubou@pastel.ocn.ne.jp



表紙イラストは、内田さん、篠崎さん、菊池さん、田中さん、松原さん、三田さん、百田さん、山口さんに協力いただきました

【2024年 新春号】

◇巻頭文	…P2	◇総務課	…P3
◇やまびこ工房・第二やまびこ工房	…P4、P5	◇相模原自閉症支援センター	…P6
◇グループホーム	…P7	◇後援会のページ	…P8

新年のご挨拶

新年あけましておめでとうございます。

2024年、皆さまには新たな気持ちでご活躍のことと謹んでお慶び申し上げます。

昨年は社会福祉法人風の谷に多大なるご理解とご支援を賜り心よりお礼申し上げます。

いよいよWithコロナも当たり前になってきた感じもありますが、福祉・医療現場ではまだマスクは外せず、変わらずピリピリした空気が残っておりますが、メンバーの生活の質を高めるための活動について、試行錯誤しながら取り組んでいるところであります。

さて、2024年度（令和6年度）は3年ごとに行われる報酬改定の年になっています。今回の報酬改定は、障害福祉だけでなく、介護報酬と診療報酬も合わせたトリプル改定となることで注目度も高い改定となります。障害福祉分野では、2023（令和5）年8月31日に実施された第35回「障害福祉サービス等報酬改定検討チーム」で、改定に向けた主な論点として以下、「①障害者が希望する地域生活を実現する地域づくり ②社会の変化等に伴う障害児・障害者のニーズへのきめ細かな対応③持続可能で質の高い障害福祉サービス等の実現のための報酬等の見直し」の3つが挙げられました。①については、障害者支援施設利用者に対して、居住の場を確認する職員の配置義務や活動場所の昼夜分離を進めるための加算などが議論されているようです。地域移行率も求められると聞いていますので、法人としても、障害者支援施設と更なる連携を図り、日中活動場所としての強みをアピールするチャンスと思っています。合わせて、相模原市では、次年度4月には「第2期共にささえあい生きる社会さがみはら障害者プラン（第4期障害車計画・第7期障害福祉計画・第3期障害児福祉計画）」が始まります。現在障害者施策の見直しおよび転換について当事者団体等へのヒヤリングが終わり、パブリックコメントが2023年12月15日～2024年1月22日間で予定されているようです。相談支援体制の充実など環境整備が載っている反面、障害当事者への個別給付が削られていく傾向が見え、市財政面での厳しさを感じる内容となっています。

法人の動きでもう一つお話ししたい事があります。それは、法人将来構想委員会最終報告（2020年）、改善委員会報告書（2021年）を受けて、2024年度（令和6年度）から5年間の中期目標策定を進めています。それぞれの報告書での提言を受けて、「I. 地域に根ざし、ライフステージに応じた福祉事業の推進 II. 利用者支援の充実 III. 人材育成 IV. 管理運営体制の見直し、労働環境の見直し」の4つを基本目標にして、風の谷が将来にわたって専門性の高い支援を提供し、自閉症・発達障害のある人が住み慣れた地域で生活することを可能とするために現状と方針・方向性について計画することとしています。出来るもの、時間のかかるもの、今早急に着手すべきものと課題に優先順位を選定して実行していきます。風の谷における成長は「利用者一人一人に寄り添ったきめ細かな支援」の充実を推進することにあります。そのためにも、事業を継続していくことが求められます。「成長」と「持続可能性」の両立を図ってまいります。

最後になりましたが、皆様方のご健康とご多幸を心からお祈りいたすとともに、一層のご支援とご協力を賜りますよう衷心よりお願い申し上げます。

（業務執行理事 西村）

不易と流行

昨年4月から総務課長を務めております。前職は東京都での行政業務や金融業務であり、社会福祉法人の運営については全くの畑違いですが、これまでの経験も活かし、法人の発展に尽力する所存ですので、今後とも宜しくお願い申し上げます。

関係者の皆様には、予てよりご心配をお掛けしておりました、相模原市からの業務改善指示および返還金についてですが、業務改善についてはPDCAを重ね、概ね目途がついてきておりました、返還金についても2025年度中の完済予定となっております。本年は締め括りの段階に入っている事を報告させていただきます。本年干支に因み、「画竜点睛」を欠く事の無いよう心掛けて参ります。

昨今の世の中は、天然資源の枯渇や大規模災害など、自然状況は正に千変万化また、世界各地での紛争、我が国での人口減少など、社会情勢においても諸行無常の感があります。

先行き不透明な時代、ICT技術や人工知能が人の仕事を担い、多くの職種が無くなると予想されており、当法人でも支援記録ソフトや勤怠管理システムなどを導入し、業務効率化で一定の成果が出ております。一方、支援の現場は人でなければ担えない仕事であり、たとえロボット技術が進展しても人の代替となるには、限りなく不可能に近いと思われまます。

これからの法人運営は、「不変な本質を大切にしつつ、新たな変化を取り入れていく（不易流行）」の精神を持ち、「人」でなければできない支援を深めつつ、様々な分野にアンテナを巡らせ参考になるものは、柔軟に真摯に、取り入れていく事がより一層必要になってくると考えます。

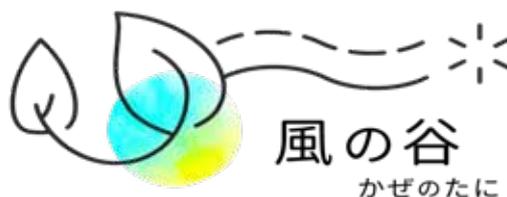
併せまして、関係者皆様の様々なご意見も、法人の維持発展には欠かせないものと認識しておりますので、今後の法人運営に貴重なご意見等を賜れると幸いです。

本年もどうぞ宜しくお願い致します。

(法人事務局 柳清水)

～お知らせ～

新しく法人のロゴマークを作成しました！
これからホームページや広報誌などでも活用していく予定です。





やまびこ工房通信 Vol.5



今年も益々楽しい一年に出来るよう皆で力を合わせて頑張っていきたいと思えます。どうぞよろしくお願いたします。

下半期の日帰り外出が始まりました。これからグループに分かれて各々の活動を楽しんでいきたいと思えます。

ハッピー ニューイヤー



宮ヶ瀬湖畔・服部牧場



多摩動物公園





第二やまびこ工房まつり



新年あけましておめでとうございます。本年もどうぞよろしくお願いいたします。

今回は昨年の12月9日に開催しました『第二やまびこ工房まつり』についてご報告させていただきます。第二やまびこ工房の初めての試みということもあり、『とにかく利用者さんと一緒に楽しみたい!』ということに支援員の気持ちが集中した企画となりました。イベント内容は、杵・うす使ってのもちつき、利用者さん主役によるスライドショー その周りにはシネマ風に喫茶コーナーを設けて シネマにはやっぱりポップコーン だよね、という具合に楽しみ方いろいろ企画です。「あれ?! もちつきって...年末にやるものでは...」というしきたりには目を瞑って、当日はクリスマスムードともちつきという混ぜこぜで盛り上がっています。

おもちをつく時には「よいしょ〜」「よいしょ〜」のかけ声に合わせて、みなさん杵を振り上げ、下ろされていました。声を合わせる、呼吸を合わせる、気持ちを合わせる、そんな空気感ももちつきの醍醐味の一つなのだなあ、としみじみと思いました。



もちつき

カフェ & スライドショー

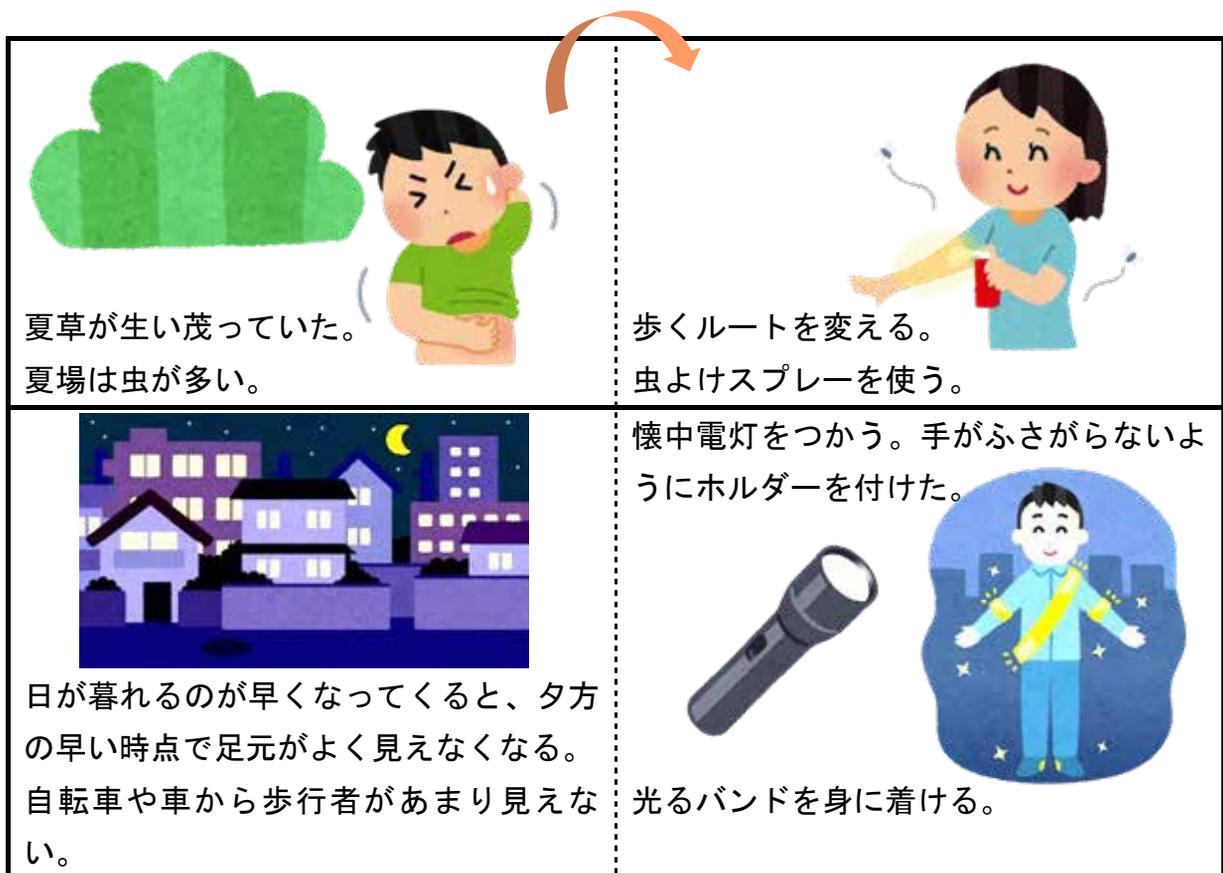


食堂
満員
御礼

第二やまびこ工房まつりにお越しくくださったみなさま、また開催にあたりご協力、ご尽力くださったみなさまに厚く感謝申し上げます。ありがとうございました。

相模原自閉症支援センターより

今年度4月より相模原自閉症支援センターは地域支援課の一事業所として相談業務とガイドヘルプサービスを担って参りました。ガイドヘルプサービスにおいては新型コロナウイルスの感染拡大によりプランの縮小を余儀なくされてきましたが、5類引き下げと市内での感染状況を鑑みて徐々にその活動範囲を広げてきました。活動を再開してみると、レジ袋が完全有料化していたり、セルフレジが増えていたり、障害者用交通系ICカードが出来ていたり、ヘルパーもコーディネーターも不要不急の外出はなるべく避けてきた為、これまで気が付かなかった発見が多くありました。ひとつひとつ、相模原自閉症支援センターとして対応を統一し、安心安全な外出活動をサポートしていきたいと思しますので、お気づきの点がございましたらお知らせいただくと幸いです。



ガイドヘルプサービスの再開で戸惑うことも多いですが、ガイドヘルプサービス全般を相模原自閉症支援センター専属で行う中で、これまでとは異なる配慮が出来るようになってきました。これまで担当コーディネーターが担っていた調整等が、事業所の課題として集約されているため、ひとつひとつの課題に複数人で向き合えるようになりました。

その他にも、活動前に情報共有を行ったり、隔月でヘルパー全体のミーティングを実施したり、これまでやりたかったけれど出来てこなかったことが少しずつ実践できるようになってきています。これからも工夫を凝らしながら、ガイドヘルプサービスに関わる皆さんと協力して、利用者様ひとりひとりの社会参加を支援して参りますので、よろしく願いいたします。

(佐野)

ナウシカ便り



昨年は、法人として新しい体制づくりの中で、事業所ごとにより独立した形で日々の支援の組み立てを行いながら相互に連携を取り、協働していくことを目指してきました。早や、1年が過ぎようとしていますが、地域支援課としてグループホームの支援を進めていく中で、ナウシカとカラフルの連携、やまびこ工房と第二やまびこ工房との情報共有など課題がありつつ、おぼろげながら方向が見えてきた気がしています。

こういった取り組みの中で忘れてはいけないと思うのは「誰のために」「何のために」といったことです。中でも後者。もちろん誰のためといった点は利用者さんのためということになりますが、そのどういった点をどのように改善するためなのかということを確認して、共有する必要性を特に感じています。2つのグループホームの現場だけでも様々な違いはあり、それぞれの特徴や現在とっている方法になってきた経緯はあります。それを互いに理解、尊重しながら、より良いものにしていくためには、共通の「何のため」が重要なのだろうと考えています。逆に言えば、そこさえ押さえられていれば、それぞれの動きの中で目標に向かっていけるのではないかと思います。スタッフの動きやすさや効率の良さは必要なものですが、その体制をつくる方に偏ってしまうと何のための取り組みか分からなくなってしまいます。明確な目的観をもちながら進めたいと思います。

ともあれ、グループホームの現場の当事者として一番の力は利用される皆さんです。抜群の個性をお持ちの皆さんです。それぞれの方が生き活きる暮らしを一緒につくっていく1年にしていきたいと思います。まずは、この年度内にナウシカとして初のイベント企画を実施したいと思います。次号、または法人ホームページでのブログのご報告をご期待ください。

今年もお世話になりますが、どうぞよろしくお願いいたします。

(野田)

カラフル便り



いつも考えることがあります。おにぎりはどこからおにぎりなのか？ お米を手で握った「おにぎり」と、お米をお茶碗によそった「ごはん」の間に、限りない「おにぎりでもご飯でもないかたまり」が広がっているのか？ お茶碗によそったご飯をくりりとひっくり返し、サランラップの上に置いただけではおにぎりとは言えない気がします。しかししゃもじで三角に整えたらどうでしょうか。おにぎりのように握ってなくても、知らない人が見れば「おにぎり」だと言ってくれるかもしれません。

「おにぎり」か「ご飯」かが、そんなに大切なことなのか？ そう思う方もいるかもしれません。ここで大切にしたいのは「手で食べていいのか？」ということです。お茶碗に盛ったご飯は、手で食べてはいけないような雰囲気があります。一方でおにぎりを箸で食べると少し風変りに思われるようです。形を変えるだけでも当然のように「そんな食べ方するなんて」とおっしゃるお米さんはなかなか厄介な友人です。

一方で、「おにぎり」にすれば手で食べてもいいというのは、助かる部分でもあります。もし箸が使えなくても、ころんと丸めさえすれば、「ああおにぎりにしたいのネ」と思ってもらえるかもしれません。ちょっと海苔を巻けば、手を汚さずに済みます。無理に箸を使わなくてもスプーンやフォークで食べたっていいわけですが。ただ、いつも海苔やスプーンを持ち歩くのは少し大変かもしれません。一番王道なやり方と、他の色々なやり方があるということに常に忘れずにいたいと思います。

(横溝)



後援会のページ



皆様あけましておめでとうございます。社会福祉法人風の谷は2021年に業務上の不手際な処理や組織内部の風通しの悪さなどが明らかになり、その反省から幹部人事の刷新や職員相互のコミュニケーションの活性化、業務効率化などに取り組み、昨年も継続して業務改善を進めています。その結果十分ではありませんが管理職と一般職員の義務と権限が明確化されたこと、職員の残業が減ったこと、規定類が整備されたこと、そして業務のIT化を進めつつあることなどが成果でしょうか。

資料作成などの間接的な業務の効率化をもっと積極的に進め本来の利用者へのケアに裂く時間を増やして行きたいと思っています。

福祉サービスは自動化や無人化が殆ど不可能で、すべて人手に頼る必要があります。効率化が中々難しいですが、少しでも無駄を無くす様意識改革が大切です。

私事ですが昨年私の家族三人全員コロナに感染し、それぞれ4日程高い熱が出て寝込みました。そして後遺症として倦怠感と蕁麻疹が出て一月位痒くて辛い思いをしました。親戚や知り合いにも多くの感染者が出て、感染力の強さを実感しましたし、後遺症も馬鹿にできないと思いました。皆様も十分ご注意ください。

今年一年が皆様にとって健康で幸せであることをお祈りします。

後援会会長 堀田脩司

令和5年6月23日～令和5年11月30日現在 順不同（敬称略）

【更新個人】

〈相模原市〉加藤秀典 堀田脩司 柳井晶子 菊間政好 佐藤清一 小林和子 永山智恵子
鏡京子 吉田さやか 高橋潤 山崎テル代 小松克明 工藤真弓 川勝登美子 川勝英範 原友作
原耕平 谷口博恵 竹内優子 古橋須美 荻原春夫 萩原莉恵子 三田二三夫 岩根徹 村田薫
縄島健一 山口彰一 森合万里子 内田まゆみ 吉澤孝雄 河本節子 佐藤しづ子 菊池みどり
正木幹彦 川島和章 高橋ユキ江 柳場秀雄 〈横浜市〉菊池孝子 大久保秀俊 石渡和実 川勝紀子
安藤紀子 〈川崎市〉中島博幸 上野悟 〈厚木市〉藤野孝夫 佐藤つかえ 藤野喜友
〈愛川町〉鮫島宏明 〈北九州市〉佐々木宏子 上城和子 〈大和市〉村岡嘉紀 〈逗子市〉北村恵子
〈八王子市〉上城功 〈弘前市〉松岡美喜子 〈さいたま市〉江澤恵 〈町田市〉竹花三枝 上城敏明
〈海老名市〉有路朱美 鶴田佳子 〈国分寺市〉岩崎秀二 〈富士市〉大久保禎 〈横須賀市〉浅羽昭子
〈品川区〉山田美和 〈世田谷区〉済田安司 済田順子 下田武 〈所沢市〉下田浄 〈仙台市〉辺見貴
〈盛岡市〉宮出敏雄

【新規個人】

〈相模原市〉宮城良子 〈盛岡市〉三原新和子

【更新団体】

〈相模原市〉(有)伸和トラスト 〈寒川町〉創デザイン工房 〈横浜市〉一般社団法人みのりの里ゆんた

【ご寄付・ご協力】

〈団体〉新宿自治会 振興自治会 田名地区連合会 豊原自治会 株式会社ニコン さがみ緑風園
新宿小学校 (有)伸和トラスト キュービックさがみはら 三菱さがみ共済会
その他たくさんの方にご協力いただきました。ありがとうございました。

風の谷後援会のご案内

風の谷後援会は、自閉症者の自立と社会参加を目指す『社会福祉法人 風の谷』を支援することを目的としております。主旨に御賛同頂き、皆様の温かい御支援を頂きますようお願い申し上げます。

一般会員 一口：3,000円/年間 団体会員 一口：10,000円

※一口以上、何口でも承ります。現金を添えてのお申し込みも承ります。

〈お問い合わせ先〉

『風の谷後援会』事務局

〒252-0244 相模原市中央区田名 7236-3 社会福祉法人「風の谷」内

TEL：042-760-1033 FAX：042-760-7115

郵便振込先 口座番号 00230-1-15345

他の金融機関からの振込先 ゆうちょ銀行 9900 店番 029 当座 0015345